

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-102910(P2018-102910A)
 【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報2018-025
 【出願番号】特願2017-222122(P2017-222122)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/532 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/53 1 0 0

A 6 1 F 13/15 1 4 2

A 6 1 F 13/15 1 4 3

A 6 1 F 13/15 3 3 0

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/532 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月12日(2018.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面シートと、裏面シートと、両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性物品であって、

前記吸収体は、吸収性コアと、該吸収性コアを被覆する被覆シートとを備え、

前記被覆シートを 1 枚用い、該被覆シートは、その左右の側縁域が互いに重なり合って重なり部を形成するように、前記吸収性コアを被覆しており、それによって前記吸収性コアの肌対向面、非肌対向面及び両側面が該被覆シートによって被覆されており、

前記吸収性コアに高吸収性ポリマーが含まれており、

前記高吸収性ポリマーに抗菌剤が含まれており、

前記被覆シートの全域に香料が含まれており、

1 枚の前記被覆シートの全域に前記香料を含ませた後に、該被覆シートの前記側縁域が互いに重なり合って前記重なり部を形成するように該被覆シートによって前記吸収性コアを被覆して、前記吸収体が形成されている吸収性物品。

【請求項 2】

前記吸収性コアは、その表面に、前記高吸収性ポリマーが非存在であるポリマー非存在領域を有する請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記吸収性コアは、相対的に坪量が高く前記裏面シート側に向けて突出した凸の形状を有する高坪量部と、

前記高坪量部に隣接し、且つ相対的に坪量が低く前記裏面シート側から前記表面シート側に向けて窪んだ低坪量部とを有している請求項 1 又は 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記香料が、尿臭成分に起因するヒトの嗅覚受容体の活性化を阻害する物質を含む請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項 5】

前記吸収体は、前記吸収性コアの側面と、前記被覆シートとの間に、両者が離間して画成された空間を有する請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の吸収性物品。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載の吸収性物品の製造方法であって、
前記被覆シートの全域に香料を含ませる工程を備える吸収性物品の製造方法。